

東関東自動車道水戸線の全線開通により、利便性が大幅に向上 所要時間が最大21分短縮
 - 銚田IC～潮来IC間が令和8年度に開通予定 -

事業概要

◆東関東自動車道水戸線とは？

常磐自動車道 三郷JCT を起点とし、北関東自動車道 茨城町JCT までの**延長143 km**の**高速自動車国道** 県内で**未開通の「潮来ICから銚田IC間」**の整備が進められており、**令和8年度に開通の見込み！**

【位置図】



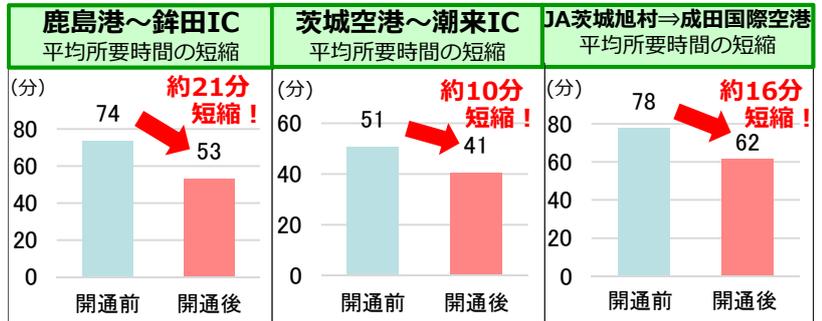
【平面図】



整備効果

高速道路ネットワーク形成により、アクセス性が向上！

【東関東道開通前後 鹿島港からのルート】



銚田IC～潮来IC間が開通することで・・・
所要時間が最大約21分短縮！！

災害時の代替路 (リダンダンシー) を確保！

【災害発生による代替路イメージ図】



【東日本大震災の被害状況】



写真① 常磐自動車道
 水戸IC～那珂IC(上り線)
 ⇒盛土崩落、路面の陥没、
 ⇒波打ちにより通行不能



写真② 国道51号
 大洗町成田町
 ⇒段差発生により通行不能

常磐道 (つくばJCT～友部JCT) 通行止め回数 及び 延べ時間

	回数	延べ時間	1回あたり
R元年	4	40時間32分	10時間8分
R2年	3	3時間32分	1時間11分
R3年	1	0時間20分	0時間20分
R4年	1	2時間58分	2時間58分
R5年	5	28時間49分	5時間45分
5年間計	14	76時間11分	5時間26分

資料) 東日本高速道路提供
 ※雨、雪、凍結、横風、災害、事故火災、故障車、工事等で本線が全車線通行止めとなった延べ時間を集計

常磐道が事故・災害で通行止めとなっても・・・
災害時の物資輸送などを支援する路線として期待！！